



市のホームページへはこちら

発行 年2回・12,500部
編集・発行 海老名市教育委員会
〒243-0422 海老名市中新田377
☎046(235)4916 FAX046(231)0277

えびなの教育

～海老名市教育大綱を策定～

市では、平成31年4月14日に開催した「第1回海老名市総合教育会議」において、市長と教育委員会の協議のもと、「海老名市教育大綱」を策定しました。

これは、平成27年4月に策定した既存の教育大綱が平成31年3月をもって計画期間が満了したことから、見直しと修正を行い、「海老名市教育大綱」として新たに策定したものです。

「しあわせをはぐくむ教育」のまち海老名

わたしたちは「ひびきあう教育」の理念のもとに

- 子どもたちの
- 家庭・学校・地域の

しあわせをめざします

子どもたちの今と将来の
しあわせのための教育

子どもと大人が
ともに成長する社会

家庭・学校・地域の
のよりよい環境づくり

に取り組みます

教育施策の3つの柱

※3つの柱で構成する
教育施策を進めます

家庭・学校・地域・行政の力を結集して

[大綱の概要]

※計画期間は4年間（平成31年4月から令和5年3月まで）

【※教育大綱とは】

市の「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、その目標や施策の根本となる方針」で、総合教育会議の場で協議・調整し市長が策定する。市総合計画に即し、教育委員会各種計画の最上位に位置するもの。

◇問合せ◇

教育総務課 総務係 電話 235-4916

教育施策の3つの柱の詳細は2面、3面へ

教育長あいさつ「令和元年」

新しい時代が始まります。

この時間の流れをみなさんとともに共有できることを喜びとし、あらためて、「令和」の時代の今と将来を生きる子どもたちのために、よりよい教育を進めたいと、思いを新たにします。

教育のねらいは、子供たちひとりひとりに、自己実現を果たし、社会に一員として生涯にわたって「しあわせ」に生きる力を身につけることです。

そのための私たち大人の使命は、責任をもって、安全安心な教育環境を整えることですが、私は、何より、今の社会を作る大人が、みんなで力を合わせて、時には歯を食いしばって、明るく、楽しく、よりよく生きようとする姿を子どもたちに見せることだと思っております。

「令和元年」 私たち大人が、手を取り合って、子供たちのために「しあわせ」に生きていきましょう。

今年も、みんなががんばりましょう！

教育長 伊藤 文康

市ホームページ「教育長の部屋」で
教育長の思いや考えを発信しています→



教育施策の3つの柱

1 「えびなっ子しあわせプラン」の推進

- ①新しい授業スタイルの確立による学力の向上 ②社会に開かれた教育課程の編成
③小中一貫教育、コミュニティ・スクールの推進 ④英語教育及び国際理解の推進 ⑤学校 ICT の環境整備と活用

【英語教育及び国際理解の推進】

これからの海老名市の英語教育の進め方を検討・協議するとともに、ラグビーワールドカップや東京オリンピック・パラリンピック開催を契機に国際理解を深めてまいります。



▲ALTによる英語授業の様子▶



※海老名市では、「英語でわがまち海老名を紹介できる子」を目指し、令和2年度に全面実施される新小学校学習指導要領（平成29年3月31日改訂）を先行実施します。外国語活動の授業を小学3・4年生は年間35時間、小学5・6年生は年間70時間行います。

子ども同士や教師、外国人講師とのやりとりを通して、子どもたちの「伝えたい」「聞いてほしい」という気持ちを育てます。

また、どうすれば相手にうまく伝わるのか、また相手の想いが理解できるのかという体験を通して、コミュニケーションへの興味・関心を高めていきます。

【学校ICTの環境整備と活用】

学校ICTの環境整備とその活用について検討・協議するとともに、プログラミング的思考により広がる可能性を追求し、未来で活躍するえびなっ子の育成に努めます。



▲タブレットを活用した小学校でのプログラミング授業の様子



※海老名市では、平成30年度に各小学校に45台、各中学校に12台、タブレット型パソコンを導入しました。

小学校では、教室でも一人1台の使用が可能となり、効果的に学習ができるようになりました。また、教室外や体育館で活用することも可能なため、子どもたちの学び方が大きく変わりました。

中学校では、調べ学習の他、生徒会の発表などにも使用されています。

2020年度の小学校プログラミング教育必修化を見据え、本年度はタブレット型パソコンを増台する予定です。

2 子どもと大人がともに学ぶ生涯学習の充実

- ①子ども・学校支援事業の実践 ②子どもと大人がともに学ぶ社会教育計画の再構築 ③生涯学習講座の充実
④「ひろがる つながる みんなの図書館」への進化 ⑤相模国分寺跡等、文化財の積極的な活用

【子ども・学校支援事業の実践】

学校応援団や保護者、地域の協力により、えびなっ子スクールの通年実施や授業支援等、更なる子ども・学校支援の充実を図ります。



▲えびなっ子スクールの様子

【生涯学習講座の充実】

広く市民の学びの場、交流の場として、市民講座「まなBINA」の充実を図ります。また、市民講座「まなBI NA」の分かりやすい情報提供に取り組んでまいります。



▲市民講座「まなBINA」で講座を聞く子どもたち

3 新たな学校施設への取組と子育て環境の充実

- ①「持続可能」で「夢」のある学校施設整備 ②健康・安全安心のための環境整備 ③学校給食のあり方の検討
④義務教育に係る公費負担のあり方の検討 ⑤放課後児童クラブ（学童保育）の充実

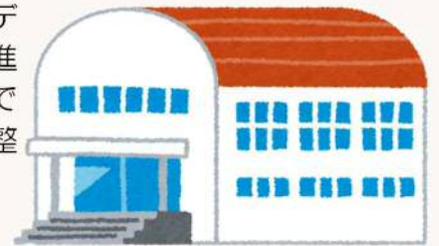
【学校給食のあり方の検討】

今後の小中学校の給食のあり方や施設整備のあり方について検討を進めます。



【「持続可能」で「夢」のある学校施設整備】

学校施設再整備計画に基づき、「学区再編」や施設の「増築、大規模改修、長寿命化改修」を行うとともに、施設の「ユニバーサルデザイン化」「木質化」を進める等、「持続可能」で「夢」のある学校施設整備を計画的に進めます。



【義務教育に係る公費負担のあり方の検討】

義務教育に係る保護者負担の軽減と学校徴収金についての検討を進めるとともに、今後の修学旅行のあり方について検討を進めます。

- ※修学旅行保護者負担軽減補助金の交付・検討委員会の設置
今年度から、海老名市立小中学校が実施する修学旅行に要する経費に対し、補助金を交付します。
小学6年生・・・10,000円
中学3年生・・・15,000円
また、検討委員会を設置し、修学旅行のあり方等を協議します。



▲子どもたちが拝観した日光東照宮

**第3回コカ・コーラボトラーズジャパン(株)協賛
海老名市中学校吹奏楽部
さわやかコンサートを開催！**

平成31年3月17日、海老名市中学校吹奏楽部1・2年生による「第3回さわやかコンサート」が文化会館大ホールにて開催されました（コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社協賛）。

コンサートは2部構成で、第1部は学校ごとの演奏（柏ヶ谷中学校、今泉中学校、海西中学校、有馬中学校、海老名中学校）、第2部は学年ごとに5校の合同演奏が披露されました。

最後には来場者600人と「花は咲く」を合唱するなど、会場は終始熱気に包まれていました。

◇問合せ◇
教育支援課
指導係

電話 235-4919

コンサートの様子▶



**海老名市教育支援センター
「えびりーぶ」の教育相談等について**

海老名市教育支援センター「えびりーぶ」では、市内小中学校と連携し、専門家による教育相談等の支援をしています。また、その他の機関でも、相談できる窓口を開設しています。

相談を希望される場合には、内容に応じて以下の相談ダイヤルへお電話ください。

いじめや不登校に係る相談

【海老名市教育支援センター：えびりーぶ】

相談ダイヤル (046-234-8700)

こども専用ダイヤル (046-234-8762)

いじめ相談ダイヤル (046-234-8768)

◆受付時間 月～金 9：00～16：30

土 9：00～11：30

（日・祝日・年末年始除く）

【県立教育相談センター】

24時間こどもSOSダイヤル (0466-81-8111)

◆24時間・毎日受付 (0120-0-78310)

[フリーダイヤル]

不登校ほっとライン (0466-81-0185)

ランドセルの重さ 実態を調査

教育委員会では、平成30年9月に文部科学省から通知された内容を受け、児童生徒が授業等で使用する持ち物の重さと量(数)の状況と、学校の配慮状況の調査を行いました。その結果、持ち物の重量が、児童生徒によっては相当な重さになっている現状があることがわかってきました。

持ち物の重さは児童生徒の健康安全にかかわるものであるため、学校と協議しながら配慮への取り組みを進めます。

小学校			中学校		
	重さ平均値(kg)	量(数)平均値		重さ平均値(kg)	量(数)平均値
1年生	4.53	1.90	1年生	7.07	1.60
2年生	4.96	2.11	2年生	5.82	1.45
3年生	5.33	1.80	3年生	5.47	1.33
4年生	4.88	1.85	全学年平均	6.34	1.49
5年生	5.21	2.33			
6年生	5.00	1.70			
全学年平均	4.99	1.92			



◇問合せ◇

▲調査の様子

就学支援課 健康給食係 電話 235-4921

通学路巡回パトロールを強化します

教育委員会では、平成31年度秋ごろから、青色等を備えた自動車（青パト車）を1台増やして3台とし、地区を北部・中部・南部の3つに分け、パトロール体制を強化します。これにより、通学路や公園等の活動場所をより細かく巡回し、児童の安全への対応を充実します。

なお、パトロールは日ごろから、低学年児童の下校時間に合わせて行っています。不審者等の情報が入ったときは迅速・的確に情報を共有し、犯罪の抑止に効果を発揮しています。

児童へ声かけを行うこともありますので、ご理解とご協力をお願いします。

◇問合せ◇

就学支援課

就学支援係

電話 235-4918



▲巡回する青パト車